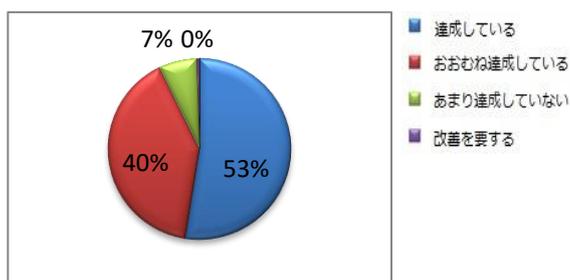


R04 学校自己評価 中間報告(保護者)

1 学校満足度

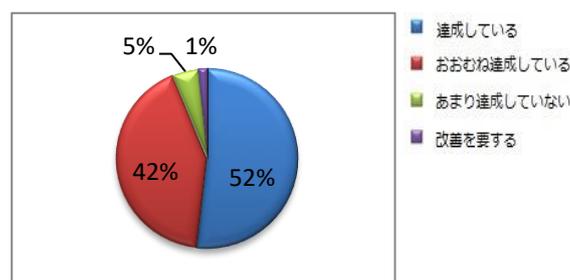
①子どもさんは喜んで登校していますか。



【考察】

昨年度に比べ「達成」割合が増え、「あまり達成していない」の割合が減っています。多くの保護者の皆様が、お子さんは楽しく登校できていると感じているようです。しかしながら、1/2程度の児童はどこか物足りなさを感じているようです。さらに多くの保護者の皆様、児童が学校生活が楽しいと感じられるよう教育活動の充実、よりきめ細かい指導を心がけてまいります。

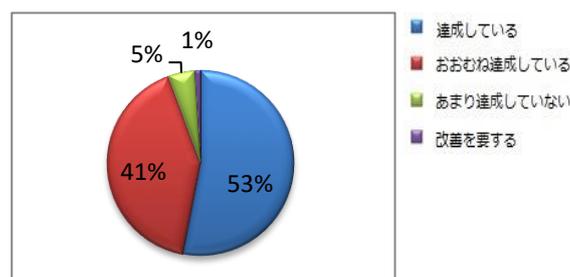
②授業はわかりやすく進められていますか。



【考察】

昨年と比べ、「おおむね達成」の割合が減り、「あまり達成していない」の割合が増えました。学校では、分かるということはもちろん、子どもたちが問いを持ち学習に主体的に取り組む授業づくりを目指して授業改善に取り組んでいます。さらにICT機器の効果的な活用により、UD化の視点を生かした授業改善をいっそう進めていく必要があると考えています。

③学級担任、学校職員は、相談しやすいですか。

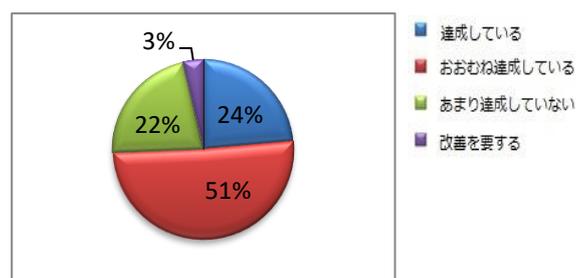


【考察】

昨年度とほぼ同様な評価となりました。今年も、参観日などで顔を合わせる機会が少ない中、9割を超える保護者の方に肯定的な評価をいただいております。学校に信頼を寄せてくださっていること、たいへんありがたく思っています。これに甘えることなく、さらに多くの保護者の皆様の信頼が得られるよう連携を密にするとともに、学級、学年、学校だよりの発行、ホームページの更新等の発信も大切にして参ります。

2 学習

◎子どもさんは「家庭学習のめあて」に沿って、意欲的に家庭学習に取り組んでいますか。

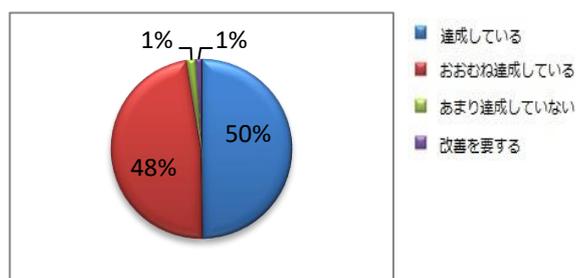


【考察】

昨年度に比べ、「達成」割合が減り、「あまり達成していない」の割合が増えました。学校での様子から家庭学習が概ね定着している半面、意欲的に取り組んだり計画的に取り組んだりすることに課題があることもうかがえます。授業と連動した家庭学習、「紡ぐ」を活用した自律的な学習等取り組んで参ります。

3 自尊心

◎お家では、お子さんのがんばりをほめたり、励ましたりする場がありますか。

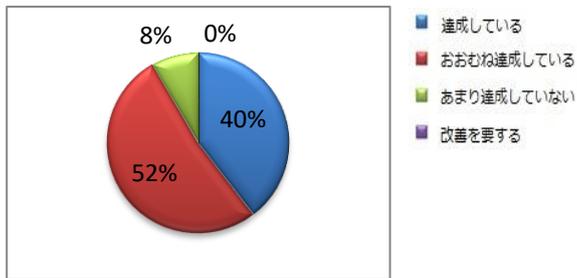


【考察】

「達成」「おおむね達成」の割合が昨年度を上回っています。9割を超える保護者の皆さんが、お子様の頑張りを認め、励ましてくださっています。児童アンケートの結果からも自己肯定感が高い児童が多いことがうかがえ、学校生活の中で見せる児童の素直で前向きな姿は、ご家族、地域の皆様のこの支えがあればこそだと思います。

4 心と体

◎学校では、子どもたちが学習や運動に粘り強く取り組めるような支援がなされていると感じますか。

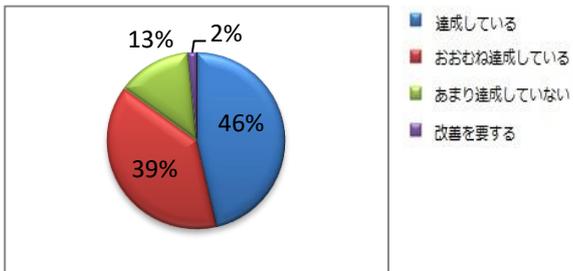


【考察】

昨年度同様の評価となりました。9割以上の方に肯定的に評価していただいています。日頃の学習への取り組み、音楽会での練習の姿、さらには活動を通して成就感、達成感を得たお子さんの姿から評価していただいた結果となったかと思いません。今後も、目標を持ち、粘り強く取り組める活動を計画していきたいと思えます。

5 地域との連携

◎子どもさんの成長に、地域の人々のかかわりを実感していますか。



【考察】

昨年度より「達成」の割合がやや減少しています。コロナ禍が続く中、実施できなかった活動もありましたが、可能な限り実施を試みて参りました。昨年より割合が減少した評価になったことで改めて、保護者の皆様が地域の方とのつながりを大切にされていると感じました。今後も可能な限り「ふるさと体験学習」を中心に、児童が主体的に地域の方を求めていく活動を計画していきたいと思えます。

6 保護者のご意見

※数値評価とともにたくさんのご意見を記述していただきました。ありがとうございました。いただいたご意見のうち、多く寄せられたものについてまとめました。

(1) 子どもたちのよさ、姿から

挨拶がよくできるというご意見がたくさん寄せられました。また、素直で子どもらしい、粘り強く取り組める、みんなで協力して取り組めるなどのよさについても多くの皆様からご意見を寄せいただきました。今後も大切にしていきたい姿です。

(2) 学習について

クロームブックを活用した授業の取り組みのよさについて多くのご意見をいただきました。一方で、子ども主体の授業、興味のあることに積極的に、考える力を、さらにきめ細やかな指導を、英語授業の推進等の意見もありました。学校では今後も授業改善に取り組んで参ります。

(3) 行事について

コロナ禍でも音楽会や運動会など工夫して開催していただきありがたいというご意見をいただいた一方、運動会の種目緩和、行事の代替、子どもたちが楽しみにしていることはなるべく予定通りに行えるようにしてほしいといったご意見もいただきました。今後は、コロナの情勢等を見極めながら子どもたちに関わる行事については、できるだけ実施していきます。

(4) 地域との交流について

地域の歴史・創造館での課外活動は身をもって学べる活動なのでコロナ禍ですが、どんどん活動して行って欲しいといったご意見を多くいただきました。学校でも地域との関わりは大切に考えております。今後も推進して参ります。

(5) その他教育活動全般について

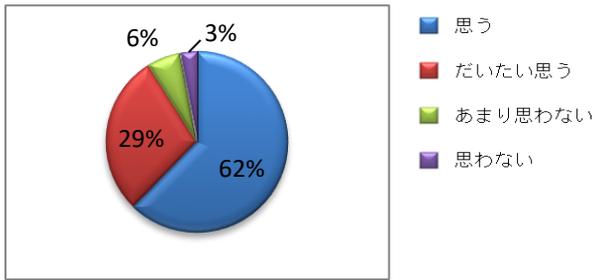
姉妹学級など異年齢学年との活動、たねぷろじえくと、SDGsへの取り組みなどのよさにふれたご意見、さらには新たな教育活動への提言もいただきました。体験や活動を通して考えたり学んだりする活動を今後も大切にしていきたいです。

学校生活全般に渡って多くのご意見をいただきありがとうございました。課題としてご指摘いただいた点につきましては、来年度の教育計画立案に生かして参ります。

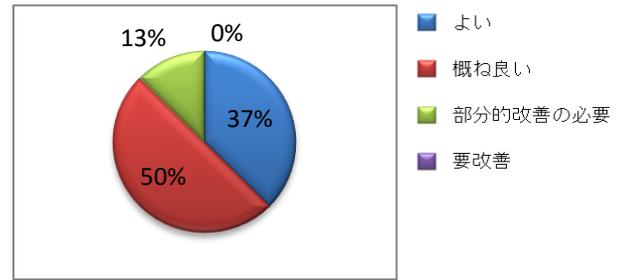
R04 学校自己評価 中間報告(2学期・全校児童)

1 学校満足度

(1) 学校は楽しいですか。(児童)



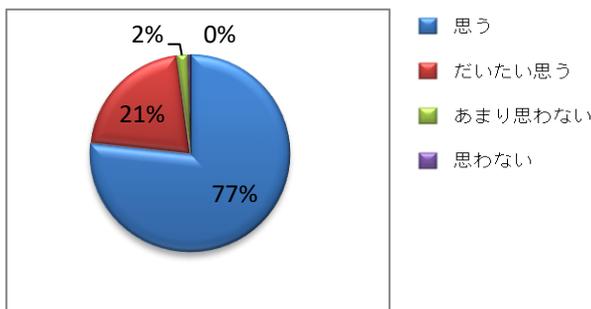
(1) 子どもたちが楽しく学校生活が送れるよう
様々な面で配慮をしていますか。(職員)



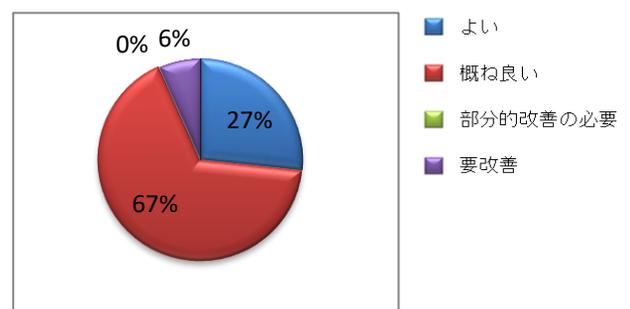
【考察】

90%以上の児童が「学校を楽しんでいる」と回答しており、1学期よりも2ポイントプラスになった。職員の配慮も全体的に「よい」という方向にシフトしており、少しずつではあるが、より居心地の良い学校に向かっていることがうかがえる。UD化を軸に、さらに改善を進めていきたい。

(2) 先生は勉強を分かりやすく教えてくれますか。
(児童)



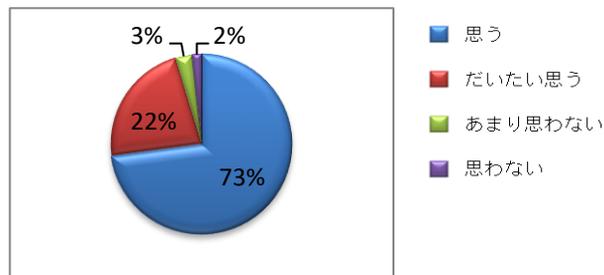
(2) めあてをはっきりと提示し、友だち同士の関わり合いを
工夫し、まとめの時間をとる努力をしていますか。(職員)



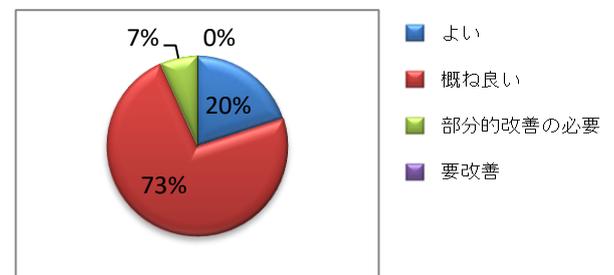
【考察】

98%の児童が、「授業がわかりやすい」と回答している。UD化の推進により、児童一人一人が自分の学びを実感できるようになってきていると思われる。引き続き、学びの実感と、学びの質の向上を図っていきたい。

(3) 先生は、困った時に相談に乗ってくれますか。
(児童)



(3) 日頃から子どもたちに声をかけたり、保護者との連絡をこまめに
子どもや保護者に寄り添いながら相談しやすくしていますか。(職員)

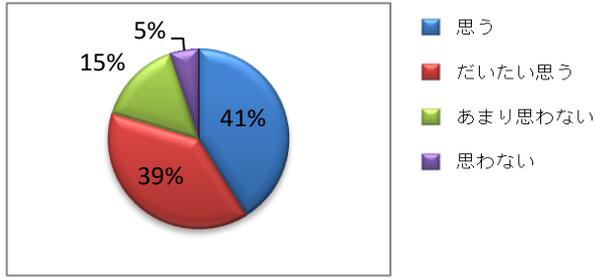


【考察】

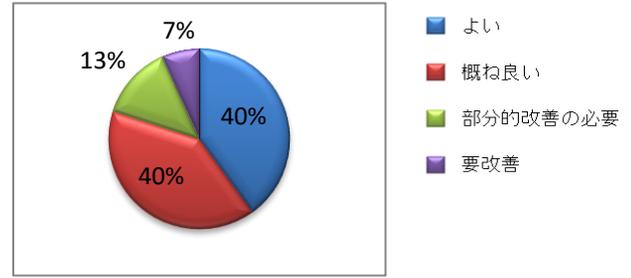
こちらも、1学期とほぼ同様の結果となった。多くの児童が「困ったときは先生が相談に乗ってくれる」と、教師への信頼を寄せていることがわかる。信頼を裏切らないとともに、そう感じていない子たちへの接し方、ケアやフォローを引き続き心がけたい。

2 学 習

(1) 学習に進んで取り組み、自分の考えを友だちに伝えていますか。(児童)



(1) 子どもたちが学習に意欲的に取り組み自分の考えを持ち、その考えを伝え合う場を設定していますか。(職員)

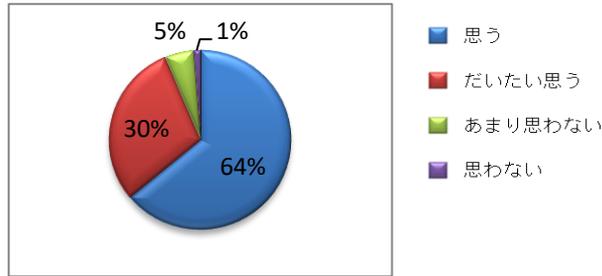


【考察】

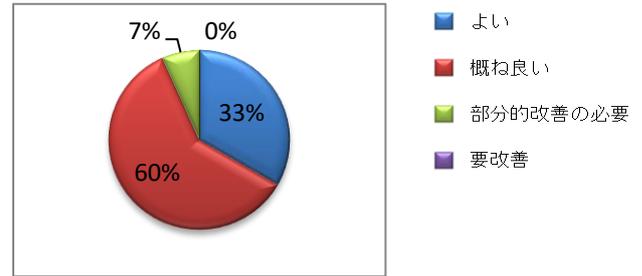
設問1-(2)で、「勉強がよくわかる」と回答した割合に対して、「考えを伝えている」と回答した割合がやや低い。協同的な学び、深い学びを実現していくうえでも、「わかる」「できる」から、「自分の考えを人に伝えられる」「説明できる」といった力を伸ばしていきたい。

3 自尊心

(1) 先生や友達は、頑張っていることを褒めたり励ましたりしてくれますか。(児童)



(1) 子どもの努力を教師自らが認め、励ますと共に、子ども同士がそれぞれの努力を認め、励まし合える環境を作っていますか。(職員)

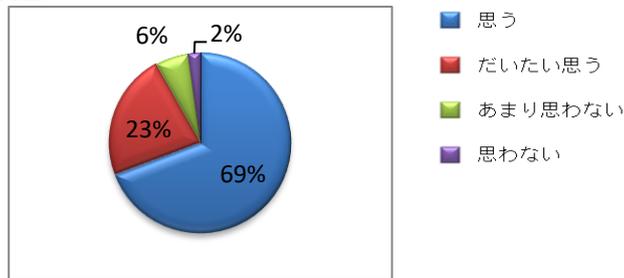


【考察】

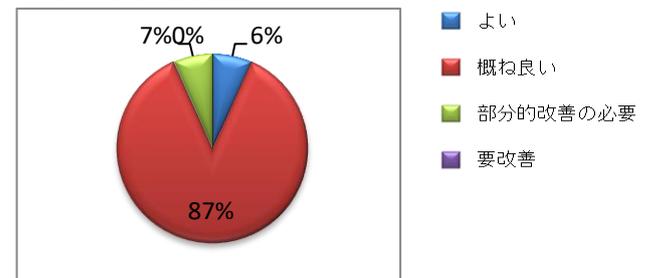
1学期に比べると、「思わない」と回答した割合が半減した。職員の結果からも、職員がより子どもたちを認める意識をもったり、認め合える場面を設けたりしていることがうかがえる。自分で自分を認められる、自信のもてる児童をこれからも育てていきたい。

4 心と体

(1) 学習や運動で最後まで諦めずに取り組んでいますか。(児童)



(1) 学習や運動で、最後まであきらめずに取り組めるようにしていますか。(職員)

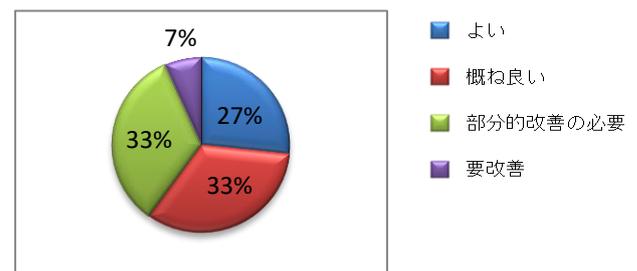


【考察】

1学期の結果と比べると、わずかではあるが、子どもたちの意識が向上している。多くの子どもたちが「自分がかんばっている」という実感をもっているようである。認め、励ますことで、主体的に学習や運動に打ち込む力や、それらを継続できる力をさらに伸ばしていきたい。

5 地域との連携

(1) 地域講師の支援により、ふるさと体験学習を充実させていますか。(職員)



【考察】

まだまだコロナの影響が強く、本来の本校の姿ではないと感じている職員が多いが、その中で、できることを最大限行ったり、時代に合わせた改善を図ったりして、極力地域とのつながりを大切にしたい、地域のもつ教育力を、子どもたちに活かしたいと願っている。